

留 学 報 告 書

記入日：2011年12月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部地域行政学科
留学先国	マレーシア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	マレーシア科学大学 Universiti Sains Malaysia
留学期間	2010年7月～2011年5月
留学した時の学年	4年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	International Student 1年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	(社会科学部の授業をとることが多かったが) <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2011年5月12日
明治大学卒業予定年	2012年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：7月上旬～11月下旬 2学期：12月下旬～5月上旬 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	28000人
創立年	1969年

留学費用項目	現地通貨 (リンギット)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	1,200	32,400円	
食費	5,000	13,500円	
図書費	500	13,500円	
学用品費	200	5,400円	
教養娯楽費	1,500	40,500円	
被服費	1,500	40,500円	
医療費	300	8,100円	現地保険費用
保険費	3,700	100,000円	形態：三井住友海上 留学保険
渡航旅費	4,444	120,000円	
雑費	1,000	27,000円	
その他	7,500	202,500円	旅行費
その他	4,444	120,000円	ノートPC、電子辞書等
その他		円	
合計	31,288	844,776円	

渡航関連

渡航経路：羽田—クアラルンプール—ペナン

渡航費用

チケットの種類	片道航空券
往路	60000
復路	60000
合計	120000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往路：マレーシア航空（旅行代理店：キャンツアー） 復路：エアアジア（インターネットで購入）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

大学内の学生寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋（同居人数2）

3) 住居を探した方法：

大学の留学生サポート機関である International Office が部屋をとっておいてくれる。ただし、日本出発前、荷物を送るなどの理由で住所を聞いても教えてもらえない。これは、おそらくその時点では部屋が決定していないため。荷物を送りたい場合は、International Office 宛に送れば届く。住所を知るのは到着日以降になる。

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

学内の寮

【設備】机、本棚、ベッド、クローゼット、1 部屋を 1～2 人でシェア

【備考】冷房なし扇風機のみ、コンクリートむき出しの床、4 部屋でシャワー・トイレ各 2 つを共用、お湯でない、ベッドマットが固い、シーツ・枕・タオルケットは各自で用意、など必要最低限の設備で決して心地よい環境ではない。家賃が月 3600 円と安く、現地の学生と同じ環境の暮らしをすることができるのが利点だが、耐えられなければ月 6, 7 万円の家賃で学外のアパートを借りられる。大半の交換留学生は 3LDK のそうしたアパートを 2, 3 人でシェアして住んでいた。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International Office（交換留学生の対応機関）

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

【情報収集】外務省や観光庁のウェブサイト、現地に関する本・ガイドブック、現地の学生の話などから情報を収集した。

【防犯対策】歩道を歩く際は、バッグを道路の反対側に持つ、危険地域には入らないなど。

【被害】留学先のマレーシアとは関係ないが、旅行で訪れたラオスのホテルで、部屋に置いていた現金約 2 万円が盗難にあった。鍵を閉めた上でスタッフに鍵を預けていたことから、疑わしいのはホテルスタッフであったが、突き止めても解決せずそのまま現地を去った。留学中に旅行に出かけることがあると思うが、気を抜かず、たとえ宿泊先の自分の部屋でも貴重品は持ち歩いた方がよいのかもしれない。また、マレーシア・ペナンでは直接被害には会わなかったが、交換留学生の 1 人が歩道を歩いている際に後ろから来たバイクの男にバッグを盗まれそうになることがあった。一緒にいた友人が追い払ったため未遂に終わった。

<p>4) パソコン, 携帯電話, インターネット (接続について) 現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p> <p>【パソコン】大学にあるPCルームのパソコンは全て古いタイプのもので、OSもWindows2003と古い。ほとんど全ての学生はノートパソコンを持ち、グループワークの際にも活用する。</p> <p>【携帯電話】多くの学生はDigiかMaxisのどちらかに契約している。交換留学生はプリペイド式を使うことが多い。同じ会社同士の通話やメールは安い。使用頻度にもよるが、月々30リンギ(約900円)あれば、十分に活用できると思われる。</p> <p>【インターネット】学生は大学の管理するWifiを使いインターネットに接続する。大学内であれば利用でき、寮などでも使える。授業期間は学生が多いため通信速度がかなり低下する。一方で、長期休みに入ると学生数が減るため速度が上昇する。また、大学のWifiでは動画サイトYoutubeを見ることができないが、これはサーバーの許容能力が低いから規制されているとのことである。学外では、カフェやマクドナルドなどいたるところで無料でWifiが解放されており、通信速度も学内より早い。</p>
<p>5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>留学期間中に使うお金を全て現金で持っていき、到着後に現地の銀行で口座を作り預金した。費用はその中で全て遣り繰りし、海外送金やクレジットカードなどによる資金調達は行わなかった。円からマレーシアリンギへの為替は、学内に設置されているCIMB Bankか近くのショッピングモールQueen's bay Mall内のMoney Changerで利用できる。</p>
<p>6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。</p> <p>日本の歌や映画、小説で好きなものを持っていき、疲れているときなどに聞くと、癒されたり元気が出たりする。</p>

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他：

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

日経ナビ、マイナビ国際派就職、Career Forum.Net、各大学院 HP

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

進路は進学だが、就職活動も行っていたので参考のために記述する。内定を得たのは京セラ株式会社、株式会社明電舎、日本船主責任相互保険組合の3社。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

就職活動の幅が狭まるという理由で留学を躊躇するというのを聞くことがある。たしかに、留学帰国時点で採用活動を終えてしまっている企業も存在すると思われる。

しかし、私はそう考えて留学しない学生に少し見方を変えてほしい。私の就職活動の経験を踏まえつつ2点述べる。1点目、留学帰国後でも、非常に多くの企業が、大手から中小企業まで、採用活動を行っている。一般的に早い段階で採用を行うと言われている、金融もメガバンクから地銀まで募集をかけている。他にもメーカー、IT、商社、コンサルティングファームなども行っており、私も受験した。2点目、たとえ留学によって就職活動の開始時期が遅れたことで、受験可能な企業数が減ったとしても、学生が限られた時間の中で受験できる企業数は知れているため、それほど不利にはならないと思われる。どうしても受験したい企業が帰国前に採用活動を始めた場合でも、一時帰国などで対応可能である。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

一橋大学 国際・公共政策大学院 公共経済プログラム

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

留学後の進路として、進学を希望していた。ただし、帰国後から卒業までに確実に進路を決めたいと考えたため、就職活動も行った。

【準備開始】留学前の段階で、志望校の候補、本番のほしいの試験日時、試験科目、語学試験のスコア提出の是非などを確認しておくといい。

【試験】

一次試験(免除)：受験した大学院では経済学検定ミクロマクロがA以上の評価であれば、一次試験が免除されるため。

二次試験：面接。これまでの学習の成果、大学院卒業後の希望進路、研究計画書の説明とそれに関する質問に対する解答

【備考】面接の時点で、就活中での面接の経験があったり、企業からの内定があったりすると落ち着いて面接を受けられる。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計	
28単位		0（認定せず）	
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。			
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Monetary Economics		貨幣経済学	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	5か月間（7月上旬～11月下旬）		
単位数	4単位		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義とチュートリアル（週1回1時間）（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Dr. Loke		
授業内容	貨幣とは何か、中央銀行の役割、金融政策の仕組みなど金融の基礎		
試験・課題など	【課題】problem set と呼ばれる毎週10問ほどの練習問題、それとは別に課題1～3題、記事要約2つ、グループワーク 【試験】中間試験と期末試験。筆記、7題から5題を選ぶ		
感想を自由記入	Dr. Loke は中国系マレー人、受講者大体中国系、少しマレー系、まれにインド系、スライドとホワイトボードを使って説明、定義、概念、図表はスライド、プロセスなどはホワイトボード		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Economic transformation in southeast asia		東南アジアの経済的変遷	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	5か月間		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義のみ（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	ジャマルディアン教授（マレー系）		
授業内容	ASEAN 諸国の経済史、経済指標の比較、成長理論などを解説		
試験・課題など	【課題】A4・2行スペースで15枚以上の課題を期末に提出、テーマ自由 【試験】期末のみ、論述3問		
感想を自由記入	受講者はほぼ交換留学生、スライドで説明、期間中何回かと期末前にスライドは配られる、受講者に質問をしながら授業、大学で数少ない教授の一人		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Malaysian studies		マレーシア学	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	5か月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義の未（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授			
授業内容	マレーシアの政治、経済、文化、宗教、歴史など幅広く網羅している		
試験・課題など	【課題】課題は月に1回程度、全部で3枚、マレーシアと母国の比較、テーマは2つのうちから一つを毎回選ぶ 【試験】期末のみ、定義説明と論述2問、問題候補は前以て知らされる		
感想を自由記入	スライドを使いながら、説明、スライドは配られない、スライドをほとんど見ないで説明、前列の学生にたまたま質問する、講師はカリフォルニアで4年制の大学を卒業		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Malaysian language		マレーシア語	
科目設置学部・研究科	言語・リテラシー・翻訳学部		
履修期間	5ヶ月間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授			
授業内容	マレーシア語の基礎単語、文法、会話、簡単なプレゼン、文章作成		
試験・課題など	【課題】テキストのエクササイズなどをほぼ毎回 【試験】面接、プレゼン、中間と期末テスト		
感想を自由記入	講師はマレー系女性、英語が上手くない、基本的なことを聞いても説明できないか、的外れの解答		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
General English		総合英語	
科目設置学部・研究科	言語・リテラシー・翻訳学部		
履修期間	5か月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義のみ（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授	マレー系講師		
授業内容	ディスカッション、プレゼン、ジョブインタビュー、レジメ作成等の実践英語、リスニングやリーディングなどの基本演習		
試験・課題など	【課題】コースワークとリスニング、ライティング、リーディングの期間中テスト、コースワークにはプレゼン、ジョブインタビュー、レジメ作成 【試験】期末試験、リーディングとライティングのみ		
感想を自由記入	受講者は自分以外マレー系、一人インド系、2年次か3年次の学生が多い、講師はマレー系でマレー訛りの強い英語を話す		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Applied Economics		応用経済学	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	5か月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義とチュートリアル（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Dr. Loke		
授業内容	消費者選択理論についてを基礎から院生レベルの応用まで、リスク下の選択理論、ゲーム理論など		
試験・課題など	【課題】 problem set を6つ、課題2つをグループワークで行う 【試験】 中間テストは5問をすべて解答、期末は7問から5問を解答、グラフを書かせる、説明させる、均衡状態を指摘させる問題など		
感想を自由記入	授業にアクティビティを含んでいて他の授業より工夫がある印象		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Economic Planning and Project Analysis		経済計画と事業分析	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	5か月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義とチュートリアル（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	ジャマルディアン教授		
授業内容	プロジェクトの費用便益分析と独占市場の理論		
試験・課題など	【課題】 グループでプロジェクトを提案し分析結果等をプレゼン 【試験】 期末テスト、定義説明6問程度、論述3問		
感想を自由記入	最初1・2カ月は思いついたことを話している、準備が追い付いていない印象で、それ以降はまとまった内容だった。イラン出身のDrの人に専門的な説明は任せていた、基本的な概念だけを授業中で説明		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
International Finance		国際金融論	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	5か月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義とチュートリアル（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120・60分が各1回		
担当教授	マレー系講師		
授業内容	国際貿易と国際為替市場の理論、実例、問題演習		
試験・課題など	【課題】 エクササイズ2回、グループでやるA4ダブルスペース45ページぐらいのペーパー 【試験】 中間、期末。問題量が多くすべて記述。例えば、大問の1つでは、これまでの金融危機が10例ほどあげられ、それぞれの原因、結果、教訓を説明させるものがあった。		
感想を自由記入	スライドを使って説明、ほぼ読んでるだけ、量が多い、テキストすべてのトピックを説明しようとしている印象。授業の工夫は感じられない。時間にルーズで遅刻するが、謝らずに授業を始める。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・留学先決定(1月) ・提出書類作成 ・健康診断や予防接種 ・現地の情報収集 ・帰国後の大学院試験や就職活動の情報収集
4月～7月	<p>【4～6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地の情報収集 ・帰国後の大学院試験や就職活動の情報収集 ・保険や航空券購入 ・ラップトップなど現地で必要なもの購入 ・書類提出 <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレーシアへ出国 ・オリエンテーション参加 ・授業開始、履修登録 ・週末を利用してほかの交換留学生とクアラルンプールへ旅行
8月～9月	<p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語のクラスでのプレゼンテーション ・現地の日本語コミュニティの学生約30名に対して日本語の授業を行う(全4回) <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期中の2週間の休講期間にブルネイ、コタ・キナバル、シンガポールへ旅行
10月～12月	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業でジョブインタビューの課題 ・マレーシア観光庁からインタビューを受ける ・中間試験と期末試験 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イポに視察 ・前期終了 ・前期で帰国する交換留学生の送別会 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休講期間にベトナム、カンボジア、タイ、ラオスへ旅行
2011年 1月～3月	<p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアへ旅行 ・後期開始、履修登録 ・後期から来る交換留学生の歓迎会 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国文化の旧正月のイベントに参加 ・中間試験 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換留学生交流イベントに参加 ・帰国後の大学院試験のため TOEFL を受験 ・ランカウイへ旅行 ・事業分析の授業でプレゼン

4月～7月	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイピン視察 ・期末試験 ・交換留学生送別会 ・浄水施設訪問 <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラッカへ行く ・帰国 ・家族、友人、大学等に報告 <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動開始 <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3社内定 ・経済学検定試験受験
8月～9月	<p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院試験出願 ・就職活動継続 <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院試験受験 ・就職活動継続
10月～12月	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内定式 ・大学院試験合格 ・内定辞退 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院合格者懇親会に参加 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学報告書作成